

ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

2001年(平成13年)9月5日 No.1203

目次

最近の米口経済関係の動向	小川和男 1
キーパーソン	11
ロシア・イルクーツク州知事選は現職の再選／11	
CIS・中東欧諸国通貨の為替レート	11

最近の米口経済関係の動向

はじめに 米国は過去10年ほどで、ロシアの主要貿易相手国の座に躍り出ており、対口貿易の不振が続くわが国と好対照をなしている。本稿では最新のデータと情報にもとづき、米口経済関係の動向をレビューする。

なお、筆者による関連レポートとして、「独口経済関係の近況と展望」(当会『ロシア東欧貿易調査月報』2001年2月号)があるので、あわせてご参照いただきたい。

1. 堅調に推移する米口貿易

(1) 2000年の米口貿易は往復100億ドルの大台に乗る

米国とロシアとの貿易は、OECDの貿易統計によると(第1表参照)、ソ連邦解体(1991年12月)直後の1992年には往復25億7,300万ドルと小規模であり、とりわけ米国の対口輸入額は5億ドル余に過ぎなかった。

同1992年の日口貿易(対口輸出=10億7,600万ドル、対口輸入=24億1,000万ドル)は、往復34億8,600万ドルを記録していたから(第3表参照)、米口貿易の規模は、日口貿易の規模をずっと下回っていたわけである。